

山形県青年の家より隔月発行でお知らせしています

山 青 の 風



2月号

発行日 令和8年2月2日
発行 山形県青年の家研修課
〒994-0032 天童市小路1-7-8
TEL 023-654-4545 FAX 023-652-2007

主管事業 「地域をつくるリーダーセミナー」

庄内会場 では ～地域も学校も盛り上げよう！～

令和7年12月7日（日）、鶴岡市勤労者会館を会場に「庄内会場」のセミナーを開催しました。本事業は、県内高校の生徒会役員や地域づくりに関心のある生徒を対象としたリーダー育成プログラムです。当日は4校から13名の高校生が参加しました。プログラム前半では、合同会社dano代表の伊藤大貴氏と東北公益文科大学3年の安藤希祥氏が、地域で主人公になるための「ワクワクの力」について講話を担当しました。続いて、鶴岡山王商店街振興組合の阿部等理事長の案内によるフィールドワークを実施し、商店街の現状から地域の課題を考察しました。午後は尚絅学院大学の松田道雄教授を講師に迎え、学校の枠を超えた「アイディア会議」形式のワークショップを行い、課題解決に向けた具体的な策を練り上げました。参加者は、青年リーダーのメッセージや現地での気づきを通じて、リーダーとしての心構えや「行動力の大切さ」を深く学びました。小さい力でも継続して人と繋がることで課題は解決できるという信念を持ち、今後の生徒会活動や地域活動で活躍することを期待させる充実した1日となりました。



内陸会場 では ～交流が生む次世代のリーダーシップ！～

令和7年12月14日（日）、山形県青年の家にて「内陸会場」のセミナーを開催しました。生徒会役員など地域活動の核となる人材の育成を目的としており、当日は13校から高校生を中心に計32名が参加しました。午前中は、そよかぜ代表の菊地航平氏が「ちいさな風がまちを変える」と題し、若い世代による地域づくりの実践についてメッセージを伝えました。その後、グリーンモール天童商店街の小出浩太郎氏の案内でフィールドワークを行い、現場を直接観察することで地域の現状を肌で実感しました。午後のワークショップでは、松田道雄教授（尚絅学院大学）のファシリテーションのもと「アイディア会議」を実施し、他校の生徒との協働を通じて多様な視点から課題を整理しました。各講師の熱心な指導により、参加者は自分事として地域課題を捉え、積極的にコミュニケーションを図る姿が見られました。実践に基づく具体的な指針を得たことで、「自分にもできることがある」という自信と行動意欲が高まり、本事業の目的である次世代リーダーの育成に資する大きな成果が得られました。



小児がん患者のご家族へ「食料支援セット」をお届けしました

12月16日、私たち「山形Make Lemonadeプロジェクト（YMLP）」は、山大病院で病気と闘うお子さんとそのご家族のもとへ、3回目となる食料支援セットをお届けしてきました。今回のセットは、地元の高校生や企業、有志の皆様の「優しさ」が詰まった特別な内容です。村山産業高校様のジャムやニチレイフーズ様のカレーなどに加え、手作りのポーチやクリスマスカードなど、一つひとつに送り手の想いが込められています。受け取られた皆様の喜ぶ顔を拝見し、「私たちの活動で笑顔になってくれる人がいる」という何よりの喜びを、私たち自身がいただくことができました。厳しい寒さが続く季節ですが、皆様から寄せられた温かなご支援に心から感謝いたします。これからも、レモネードのように爽やかで温かい支援の輪を広げてまいります。



献血ルームでのレモネードスタンド

令和7年12月16日から28日まで、献血ルームSAKURAMBOにて開催いたしました「山形Make Lemonadeプロジェクト」のレモネード販売は、盛況のうちに終了いたしました。期間中、多くの方々に温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今回の活動では、レモネード販売を通じ、その収益の一部を山形大学医学部小児科へ寄付いたします。「買うだけで誰かの力になる」という趣旨にご賛同いただき、多くの方が気軽に支援の輪に加わってくださいました。特に28日には、ボランティアサークル「nicoこえ」が直接販売に駆けつけ、元気な笑顔で会場を盛り上げました。レモンの被り物での写真撮影を楽しむご家族連れも見られ、終始和やかな雰囲気になりました。皆様の優しい行動が、確実に病氣と闘う子どもたちの笑顔へとつながっています。多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

多くの善意に感謝



青少年地域活動 団体調査から

次の4団体が増えました

川西町：見習いペンギン
ファーストペンギン
鶴岡市：中央児童館ひろっぴあ
サポーターズクラブ
天童市：山形Make Lemonade
プロジェクト (YMLP)

村山エリア：17団体 (+1)

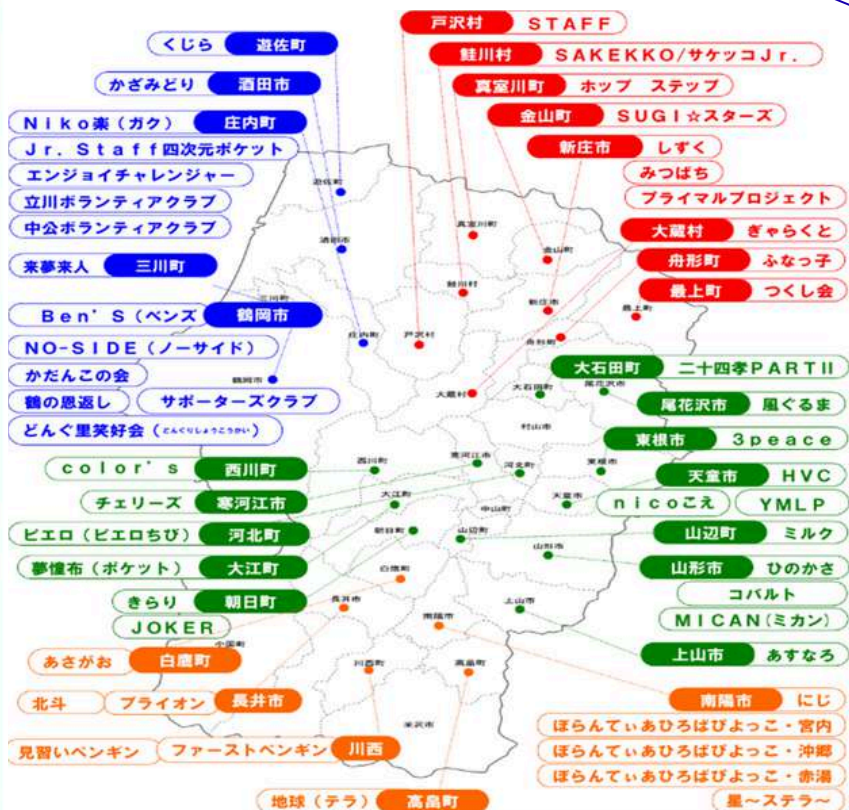
最上エリア：10団体 (±0)

置賜エリア：11団体 (+2)

庄内エリア：14団体 (+1)

県全エリア：52団体 (+4)

*県全エリアの会員数も17名増えて
893名となりました。



<<12・1月のご利用ありがとうございました>>

- [宿泊] ⇒ 平鹿中学校バスケットボール部
南陽市立宮内中学校ソフトテニス保護者会
[日帰り] ・やまがたの自然の魅力！満喫プロジェクト



- ・天Jソフトテニス ・TGBスポーツ少年団 (ソフトテニス)
- ・山形ジュニアソフトテニススポーツ少年団 ・1st. Rev. BC (バスケットボール) ・T3B (バスケットボール)
- ・岩井家 (バスケットボール) ・HOOP is LIFE (バスケットボール) ・神無月バドミントンクラブ
- ・バドフレンド ・ひがしねバレーボール同好会 ・山形スマイルガールズ ・山形SGベースボールクラブ
- ・放課後等デイサービスハートテラス ・天童市子ども会育成会連合会 ・ボランティアサークル「nicoこえ」
- ・F5C (ソフトテニス) ・村山教育事務所「MYボランティアサークル交流会」 ・地域をつくるリーダーセミナー
- ・山形県生涯教育 ・学習振興課「青少年教育施設長会議」 ・山形県青少年教育施設協議会 所長会議

THANK
you



山青グラフィティ

午後5時より7時まで、1日の研修の疲れをいやす入浴の時間がある。総検作りの湯殿では、楽しい話題がいっぱい。むかし、腹をわって話をしようか、肌で付き合うという言葉があったが、現代では入浴時間こそその最たる交流の場であろう。同じ室に同じ地区の青年だけが宿泊したとき、出来るだけ他の集団の部屋との混浴を望む声も出ている。(1967年記録メモより)